

2024 年度通期及び第 4 四半期決算説明会（連結）

スライド 61

皆さん、こんにちは。私の名前は Ting です。私は楽天グループの Chief AI & Data Officer を務めています。本日は、私たちの AI-nization の戦略と進捗についてお話できることを大変誇りに思います。

スライド 62

私たちのビジョンは、AI の力を活用して人間の創造性を強化することです。私たちは、楽天の強みである膨大なデータとチャネルを活用し、この成長のためのフライウィールを構築し続けることで、お客様や株主の皆様になたな価値を提供し続けます。

私たちは、3 つの戦略を実行しています。まず「ディープラーニングの基盤強化」、 「企業向け Rakuten AI」、そして「消費者向け Rakuten AI」です。本日は、この 3 つについて最新情報をお伝えします。

スライド 63

戦略は重要ですが、実行ほど重要なものではありません。2024 年は、楽天グループにおいて AI を実行に移す一年となりました。1 月から 12 月まで、私たちは継続的に新しい AI の製品やサービスを高品質、かつ迅速に提供してきました。このスピードを実現できた理由は、私たちの投資タイミングの判断力にあります。

私たちは、ディープラーニングの基盤に投資し、ゼロから構築することで、検索、レコメンデーション、広告などの複数のアプリケーションを提供できるようにしました。

次に、将来を見据え、企業向けの生成 AI アプリケーションへの投資を行いました。これには、私たちの持つドメイン知識とお客様からのフィードバック、そして楽天社員に

よる検証を組み合わせることで、高品質なサービスをお客様に提供することができました。

そして最後に、昨年末には、より大規模な消費者向けアプリケーションを立ち上げました。同時に、将来に向けた基盤を構築し、大規模言語モデルに非常にコスト効率の良い方法で投資を行っています。

スライド 64

昨年この時期、2024年にはセマンティック検索ベースのアプリケーションを10個立ち上げたいとお話ししました。実際、セマンティック検索に基づくサービスを11個の立ち上げを実現でき、これについて私たちは非常に誇りに思っています。さらには、同じ技術をセマンティックレコメンデーションや広告にも活用することができました。

これらの異なるアプリケーションをすべて見ると、共通点があることがわかります。それは、AIの能力を活用してユーザーの意図を深く理解し、私たちが持つサービスや製品と結びつけることです。

スライド 65

次に、「企業向け Rakuten AI」 カテゴリーについてお話しします。私たちは、自分たちの製品やサービスを試し、お客様の課題を理解し、実際に問題を解決するソリューションを設計するために、自分たちの製品は自分たちで使っています。

楽天では従業員がAIプロダクト「Rakuten AI for Rakutenians」を日常業務で利用していますが、例えば、営業はこのAIを通じて、営業資料の準備、プレゼンテーション資料の作成、メールの下書きなどにかかる時間を節約することができました。節約された1分1秒が、お客様と過ごし、より深い関係を築くための時間となります。

スライド 66

そして2週間前、「Rakuten AI for Business」を立ち上げました。これは日本のビジネス向けに設計されており、非常にアクセスしやすく、手頃な価格で提供されています。また、プライバシーとセキュリティを考慮して設計されています。

私たちの運営、営業、マーケティング、エンジニアリングといったさまざまな分野での専門知識と経験を活用し、テンプレートやツールを開発しました。これにより、大企業から中小企業まで、すべてのビジネスが日常業務でAIを活用できるようになります。

スライド 67

また、楽天モバイル専用アプリ「Rakuten Link」に最先端技術を統合することで、消費者向けアプリケーションも立ち上げました。新しいアカウントを作成する必要も、別のサブスクリプションを支払う必要もありません。楽天モバイルを通じて、最高のAI技術をその場で利用できます。

さらに、「楽天 AI Assistant」を発表しました。これは、楽天グループのサービスを新しい方法で利用するためのもので、マルチモーダルアプローチにより、チャット、会話、画像、音声を使って、1つのアプリで楽天グループのすべてのサービスを連携させることができます。

スライド 68

最近、DeepSeek について耳にした方もいるかもしれません。彼らは非常にコスト効率の良い方法で強力なモデルを作成しています。これは、私たちが過去2〜3年間採用してきた戦略でもあります。

私たちは楽天の大規模言語モデルにも投資してきました。2024年3月に、「Rakuten AI 7B」というモデルを立ち上げました。このモデルは同じサイズのモデルの中で最高のものでした。特に日本語においては、最高のパフォーマンスを発揮しました。これは、日

本語に特化したトークナイザーを開発し、私たちのデータやエンジニアリングの専門知識を活用することで実現しました。

昨年 12 月には、「Rakuten AI 2.0」を発表しました。最先端の「Mixture of Experts」技術を活用することで、コストを抑えながら強力なモデルを提供することができました。また、「Rakuten AI 2.0 mini」という 1.5B の小型の言語モデルをゼロから開発しました。このような楽天グループ内の専門知識により、最新のオープンソースアルゴリズムや公開された技術を活用して、さらに強力なモデルを作成することが可能になりました。

このように、大型モデルから小型モデルまでの優れたポートフォリオを持つことで、顧客はより柔軟に選択肢を持つことができます。最も強力なモデルが必要な場合、小型モデルが必要な場合にも両方対応ができるということです。そして、すべてが日本の文化、言語、ビジネス慣習を反映するように設計されています。

今週 2 月 12 日に、私たちはこのモデルをオープンソースコミュニティに公開しましたので、皆さんもそれを基に構築することができます。

スライド 69

2024 年が学びの年であったとすれば、2025 年はスケールアップする一年となるでしょう。私たちは基盤を拡大し、よりインパクトのある製品を提供する予定です。「Rakuten AI for Business」をより多くの顧客や業界に拡大し、さらに Rakuten AI をより多くの消費者向け製品に組み込んでいきます。

スライド 70

そして、これを「Rakuten AI イノベーションプラットフォーム」を通じて実現します。データ、モデル、ツール、アプリケーションといった堅固な基盤を構築することで、成功に必要なすべての要素を備えています。

楽天の AI の進捗に対して、すべての楽天社員とビジネスパートナーの皆様にご感謝申し上げます。そして、楽天が開発する AI の進化と発展にご注目いただいている皆様、ありがとうございます。2025 年第 1 四半期にはさらに多くのアップデートを共有できることを楽しみにしています。ありがとうございました。